

社大 同窓会

日本社会事業大学同窓会

社会福祉学会

同窓生のいる
現場で働く。

日本社会事業大学同窓会
「就活・全国フェア」
in 社大

福祉現場にいるOB・OGが皆さんの就活をサポートします。

- ◆ 全学年参加可 予約不要、入退場自由
- ◆ 教学棟1F大講義室
- ◆ 12:00-16:30 (11:00開場)
- 12:00- 団体情報提供・合同面接会(1)
- 13:00-13:45 団体プレゼン(1団体3分)
- 14:00- 団体情報提供・合同面接会(2)

2018. 6/23 (土)



社会福祉学会 同窓会イベント開催のご報告

去る6月23日、大学社会福祉学会との共催による就活・全国フェアin社大をはじめとする同窓会イベントを実施しました。開催にあたり、様々にご尽力いただいた学会実行委員・在校生ボランティアの皆様には心よりお礼を申し上げます。学生参加が少なく参加団体の皆様方には大変ご迷惑をおかけする結果となりましたが、今後大学やアカデミック・プランニングの担当教員とも連携し再チャレンジしたいと考えております。

同窓会としては、今年度から実施する「JCSWネットワーク職場体験等応援制度」など母校・在校生への支援、そのための卒業生のネットワークづくりをさらに推し進めていきたいと考えておりますので、各支部長、会員の皆様のご理解とご支援を重ねてお願いします。

同窓会会長 岩崎俊雄



フェア in 社大



就活・全国フェア in 社大 参加団体

 (福)あすはの会
(福)あすはの会 法人本部事務局

 大田幸陽会 法人本部

 至誠学舎立川
社会福祉法人 至誠学舎立川

 白根学園 法人本部

 社会福祉法人 仁愛会
特別養護老人ホーム サナホーム

 Sawarabi
社会福祉法人 さわらび福祉会

 社会福祉法人 龍川学園

東京アフターケア協会
 東京都清瀬喜望園

 東京都手をつなぐ育成会
 清瀬育成園ひだまりの里きよせ

 社会福祉法人 南大聖学院
特別養護老人ホーム清雅苑

 特定非営利活動法人 どうぞ
 こどもディサービスらびい

 なかのドリーム
重症心身障害児者サポート 特定非営利活動法人 特定非営利活動法人 なかのドリーム (施設名)おでんくらぶ・訪問介護なべ

 DOTLINE GROUP
ドットライングループ 株式会社ドットライン (ドットライングループ)

 (福)日本キリスト教奉仕団
 アガベセンター アガベ喜番館

 日本赤十字社
 日本赤十字社総合福祉センター

 日本フレンズ奉仕団
 法人本部事務局

 福音寮
 児童養護施設福音寮

まりも会・清瀬療護園

 社会福祉法人 光明会
障害福祉サービス事業所 就職するなら明眼アカデミー・成田キャンパス

参加支部

北海道支部 村上勝彦(学部9期)

 社会福祉法人 慧誠会
 Keiseikai

 はるにれの里
 社会福祉法人 はるにれの里

これから、
 かがやき満ちる日を。

社会福祉法人 栄和会

岩手県支部 右京昌久(学部24期)
 秋田県支部 佐藤与志夫(学部12期)
 福島県支部 菊池恵子(学部21期)
 茨城県支部 伊藤博胤(本科10期)
 栃木県支部 岩崎俊雄(学部10期)
 千葉県支部 加藤祐二(学部19期)
 東京都支部 豊岡 敬(学部14期)
 長野県支部 野村健一郎(学部7期)



参加支部



同窓生と一緒に考える！
「ソーシャルワーカーへの途」



ソーシャルワーカーズ・ライブ



読むこと・生きること・情報は命！



2018年・東京・実践の現場から



PHOTO NEWS

3/16 福祉の最前線へ
学位授与式(卒業式)



6/23 社大福祉フォーラム2018

学生研究奨励賞贈呈式



4/28 新入生オリエンテーションフェスティバル

ハンセン氏病を学ぶ、ハンセン病資料館見学





ブレイケアサークル おもちゃばこ

笑顔の想像から創造へ

おもちゃばこってなに？

今年で16年目、2002年に創部されたブレイケアサークルです。ブレイケアとは「遊びの気づき」という意味で、遊びを通して全ての人に笑顔になってもらえるような活動を行っています。また、自分たちで高齢者・障害者・児童など、その方々に一番楽しんでいただける企画を考えています。



カリスマ的存在の4年生。優しくて頼りになる3年生。楽しいことが大好きな2年生。発想豊かで期待の1年生。みんなで仲良く活動しています！

活動メモ

週1回 活動ミーティング(活動内容を話し合います)
月1~2回 施設や学校で活動を行います。現在は4種類の活動があります。(清瀬近辺の施設や地域の方々に協力していただいています。)



高齢者の方に大人気の「お弁当づくり」という工作の写真です。お弁当の具から箸まで、すべて手作りです！

梅雨の時期に、考えた企画です。傘に張られている絵は利用者さん作です。カエルや朝顔など、思い思いのデザインで書いていただき、カラフルで素敵な傘が完成しました！



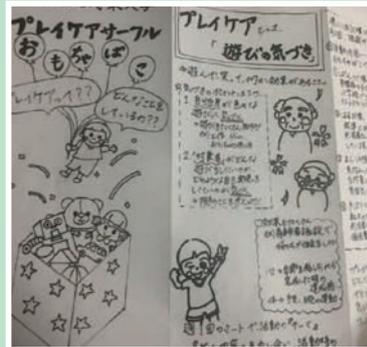
児童分野では、自閉症の子どもとそのきょうだいを対象として活動しています。

自由奔放な子どもたちと遊ぶのは疲れますが、それでもやはり子どもたちの笑顔を見ると私たちも笑顔になれます！これこそブレイケアです！

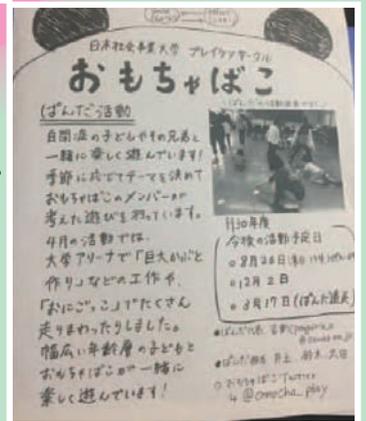
●これからの活動

創部から日は浅いですが、社大の中でブレイケアを行う唯一のサークルです。これからも、全ての人々が笑顔になって、心身に何らかの良い影響を与える活動ができるよう、遊びの幅を広げたいと考えています。また、児童分野の活動において、子どもの人数をどう増やすかが課題です。この記事をご覧いただいている皆様の力を貸していただけると嬉しいです。よろしくお願ひ致します！

(サークル代表 小山紗弥)



新入生向けチラシです。サークルの活動内容やブレイケアについての説明を詳しく載せました。



母校の支援と同窓生のネットワークを生かすため、あなたの同窓会への参加をお待ちしています。

ご存知ですか？ 社事大生のボランティア活動

3月2日~4日

全国研究交流集会学生ボランティアフォーラム

(国立オリンピック記念青少年総合センター)

全国学生ボランティア交流見本市：アクションマーケットに出展しました



みなさんの感想を 聴かせてもらいました



- 自分たちの活動を伝えることができ、当事者意識を持って参加することができました。
- たくさんの方が、自分たちのブースに来てくれたことに驚き、嬉しく思いました。
- 他大学の人とつながりができたことが収穫です。
- 社大以外のサークルは災害支援をメインで活動しているところが多い印象でした。
- まちづくりや地域と連携したイベント性のあるボランティアなどがあり、ボランティアは福祉系だけではないことを改めて感じました。

2018 自主企画 のご案内

社大ボラセン学生スタッフ新入生向け企画

社大福祉フォーラム
2018 自主企画のご案内

日本社会福祉大学ボランティアセンター
学生スタッフ 1step企画

テーマ - 学生だからできること

- みんなが参加したボランティアのほんの一角って？
- 学生だからできることって何がある？

一層色々な角度から学生だからできることについてトークしましょう！

子ども、高齢、障がい、災害、地域と連携がある方など、どんな方でも歓迎します！

日時 **6月23日(土)**
14:00~16:00

場所 **A401 教室**



社大ボラセン 学生スタッフ 新入生向け企画



ボランティアトークサロン

4月24日(火)
場所：生協2階(食堂の隣・喫茶)
時間：10:40~14:30

*申込不要・ランチ持ち込みOK
ボランティア活動についての心配や疑問など、先輩に何でも相談できます。サークルを迷っている、市内でのボランティアを紹介してほしいなど、気軽におしゃべりしにきてください！

ボランティアサークル見学ツアー

- ◆ **5月20日(日)児童劇団ピッコ**
〈児童劇・社大公演〉
場所：社大 武道場
時間：11:00集合
申込締切：5月17日(木)
定員：20名
経演後舞台裏も見学できます(その場合、14:30ころまで)
 - ◆ **5月27日(日)児童文化部**
〈人形劇・竹丘公演〉
場所：竹丘地域市民センター
時間：10:30 社大集合~12:00まで
申込締切：5月17日(木)
定員：15名
- ※詳細は、後日参加者にお知らせします。
※5月13日(日) 東久留米子どもまつりでは、「言の葉」「児童文化部」が活動します。興味のある方は、ボラセンまで。

復興カフェ体験

4月25日(水)
場所：Aロビ
時間：12時10分集合

*申込不要
Cocoaの復興カフェの美味しいコーヒーとお菓子を体験しよう！



復興カフェ、災害義援金募集
(学生有志団体 Cocoa)



児童劇(学生児童劇団ピッコ)

母校の支援と同窓生のネットワークを生かすため、あなたの同窓会への参加をお待ちしています。

1983年度生同窓会 I'm Fine

7月14日に表参道カフェにて83年度生の同窓会「I'm Fine」を開催いたしました。6回目の開催が19年ぶりとなってしまいましたが、41名の仲間たちが集まり、会場は昔と変わらない穏やかな笑顔に包まれました。閉会后、ロマンス坂を訪れるオプションツアーを用意し、今もあの頃の面影を残す原宿のオアシスで時間旅行を楽しみました。

菅原秀臣



表参道カフェ(ジュブリープラザビル3F)



旧第1松窓寮(女子寮)前で



ロマンス坂オプションツアー

始動・千葉県同窓会

総会・座談会「福祉の担い手を求めて～世代別に語る社大生の今昔～」

同窓会千葉県支部の活動を約15年ぶりに行いました。今年に入り有志により準備を進め、7月21日(土)に千葉県支部総会を開催し、その後専門職大学院木戸宜子先生、同窓会顧問松崎泰子先生、学部卒業生3名による座談会「福祉の担い手を求めて～世代別に語る社大生の今昔～」を行い、現状の大学の様子や今昔の学生生活、福祉観の違い等情報交換の場を設け、支部役員含む33名の出席がありました。終了後は懇親会で久々の再会に話しも弾みました。

和田幸成



総会/千葉市生涯学習センター



座談会/終了後は懇親会で再会

社大グッズプレゼント

先着10名様に社大グッズセット(トートバッグ、マーカー、クリアファイル3種類)をプレゼントいたします。住所・氏名を次のあて先までご連絡ください。
(郵便の方)〒204-8555 東京都清瀬市竹丘3-1-30

日本社会事業大学同窓会
(e-mailの方)kouyu@jcs.ac.jp
日本社会事業大学入試広報課提供



JCSWネットワーク 職場体験等応援制度始まる!

■社大生の「職場訪問・体験」「セミナー参加」を応援します!

同窓会では、日本社会事業大学とのパートナーシップを推進するため、卒業生のネットワークを活かして在校生が同窓生の職場訪問や同窓会支部セミナーへの交通費等経費の一部を助成するための『五味基金JCSWネットワーク職場体験等応援制度』を実施します。(対象や助成金額等については、同窓会ホームページでお知らせしています)

■参加団体を募集します(20法人・施設程度)

参加団体につきましては、本制度の実効性を高めるため「登録50団体程度」としてありますが、今回は同窓生が法人役員や施設長などになっている団体からの参加募集を呼びかけます。応募期間は平成30年11月末日までとします。(なお、2018年就活・全国フェア-in社大への参加団体施設は、本制度への参加団体として登録済み)

■申込先は次のとおりです。

参加希望の方は、同窓会事務局にメールにて連絡ください。簡単な参加団体データの登録があります。

E-mail:kouyu@jcs.ac.jp



◆2018年度事業計画

一昨年、母校創立70周年を記念して在校生と卒業生が実施したイベントの経験を踏まえつつ、同窓会は卒業生同士での活動だけでなく、在校生とも一緒になって、今後も社大教育と実践をつないでいく。

実習現場の提供や就職の支援、そのための卒業生のネットワークづくりをさらに推し進めるため(1)支部活動の活性化(2)在校生との交流・同窓生間の交流の促進(3)大学とのパートナーシップの推進に引き続き取り組んでいく。

◆母校在学学生への支援

①就活・全国フェアin社大の開催(卒業後に故郷や地方に就職を考えている在校生のため、同窓会支部の相談コーナーを設け就職支援。本年からは、同窓生が法人役員や施設長となっている団体の合同就職説明会も開催)②JCSWネットワーク職場体験等応援制度の実施(在校生の同窓生職場訪問や支部セミナーへの交通費等経費の一部助成)③同窓会「五味基金」による学生支援奨学金(学部入試において同窓会支部推薦により母校に入学した修学困難学生に対し、1名につき50万円を奨学金として支給)

◆同窓会事務の改善

同窓会名簿を新規作成(2019年度予定)することによる会員データを再構築。また、このことに伴う会員のプライバシー保護及び情報セキュリティの強化と事務局業務・データメンテナンス等の経費削減

◀同窓会活動強化のためのキーワード▶

同窓会総登録数 15,707人 清瀬年代(入学者) 6,419人		会報送付数 8,070部 同窓会の取り組みをもっと身近に
就職などの在学学生支援 就活・全国フェア 同窓会支部相談会の開催		会費納入者(約1,500人) 同窓会基盤の強化 会費を納入する若い世代や 通信教育科修了生への参加推進
同窓会×大学 パートナーシップ推進	修学困難学生に対する支援 五味基金の活用 支部推薦入学者に奨学金支給	大学入試広報との連携 同窓会セミナー(地方大会)の活性化 高校・高校生への参加呼びかけ

2017年度 日本社会事業大学同窓会収支計算書

2018年度 日本社会事業大学同窓会予算

収入の部		
科 目	2017年度決算額	2018年度予算額
会費収入	3,888,970	4,000,000
入会金収入	966,820	975,000
雑収入	347,762	100,000
前年度繰越金	581,196	1,028,890
合 計	5,784,748	6,103,890

【収支差引額】

5,784,748 - 4,755,858 = 1,028,890
(収入決算額) (支出決算額) (翌年度繰越額)

- ◆ 2017年度一般運営基金現在高 19,935,949
- ◆ 2017年度五味基金現在高 15,905,267

支出の部

科 目	2017年度決算額	2018年度予算額
会議費	135,081	200,000
委員会活動費	19,800	50,000
人件費	374,000	600,000
支部強化費	368,248	600,000
機関誌等発行費	2,614,085	3,000,000
支部出張費	150,190	250,000
通信運搬費	92,378	100,000
学内学会助成費	100,000	100,000
システム管理費	413,285	200,000
ホームページ関係諸費	64,800	100,000
慶弔費	6,695	50,000
国際交流推進費	14,484	50,000
卒業記念品費	219,940	250,000
会費徴収資料作成費	60,872	0
事務局活動費	35,600	50,000
事務局業務委託費	86,400	0
予備費	0	503,890
合 計	4,755,858	6,103,890

3月16日

同窓会主催
留学生の卒業を
祝う会



PHOTO NEWS

3月24日

同窓会主催
通信教育科
修了生の集い



3月24日

法人と同窓会の
意見交換会



6月23日

幹事会
支部からの提案による
同窓会活動の強化策について協議



同窓会費納入に
ご協力を

会報「社大同窓会」を年に2回約8000人の同窓生・約1000人の在校生にお届けしていますが、会費納入者は約1500人とどまっています。母校創立70周年を契機に今後とも同窓会は、卒業生同士の活動だけでなく在校生とも一緒になって、社大教育と実践をつないでいきたいと考えていますので、一人でも多くの方の会費納入をお願いする次第です。 同窓会役員一同

社大発！ 急成長のベンチャー企業！ 夢を実現させる。

子ども・高齢・障がい分野で地域が抱える問題の解決に事業として取り組まれています

私は二十四歳の時に会社を起業し、現在では九年目となり四社経営しています。

当社、株式会社ドットライン（ドットライングループ <http://www.dotline-jp.com>）は、「事業という手法を用いて、地域が抱える問題の解決をする」を経営目標に掲げ、千葉市内にて合計七か所の高齢者・障害者（児）の在宅支援の事業所を運営しております。

今年、新たに新規事業として、保育園、障害者グループホームを行う予定です。

約四年前に福祉事業を始め、現在では、社員数は百名を超え、千葉市内で利用者数五百名以上の在宅サポートを行っており、地域では最も多くの利用者を抱える企業の一つとなりました。

当社の特徴は、年齢問わずとにかく、若くて元気で仲



が良いこと（笑）。管理職の平均年齢が三十代前半であり、古い体制にとらわれない、楽しい働きやすい風土を大事にしています。ICTを駆使して、業務効率を上げ、プライベートと仕事を分け、上下関係も厳しくなく、いかにも今風なベンチャー企業を感じて（笑）。若者の採用獲得が増え、定着しています。

最近では、当社の取り組みが、日本経済新聞や専門誌などにも取り上げられるようになりました。

現在の事業の創業の経緯や事業展開の想いについて

私は、幼少期にアンパンマンのような「ヒーロー」に強く憧れていました、その憧れが私の創業の根源なんです。誰かが困っている時に駆けつけていく正義のヒーローの姿が単純にカッコいい！その幼少期の感覚が、現在の企業スローガンである「地域の「困った」を『ありがとう』に変える」という表現になっています。

私自身、人生紆余曲折ありましたが、祖母の死での家族が苦労したのをきっかけで、私がやりたかったのは、「人が本当に困った時に助けるヒーローになること」と初心に返り、自らヘルパーとなり、地元の千葉市にて、訪問介護事業をスタートして、現在に至ります。



垣本 祐作
学部49期
(2009年卒)

卒業後さまざまなことにチャレンジされています

社大卒業後は、大手上場企業である人材会社に就職しました。しかし、大企業の性質が私には合わなく、半年位で退職し、ニートになってしまいました。

ニート時代は辛かったです。が、起業への夢と希望は意地でも失いませんでした。資金を稼いで、起業できる状態を作るのが先決だと思い、インターネットで「高収入職業」としたら、「平均年収千七百万円！ポータルレサー募集」という文言が目に入ってきました。

私はすぐに受験を決めて、三カ月の試験対策で合格率二%のポータルレサー試験に初受験で合格しました。

選手をやるより、この難関試験に短期間で合格するためノウハウを全国の受験生に提供する事業を無料のインターネットを使って展開できないか？と考え、ホームページを立ち上げ、集客を夜も寝ず没頭しました。当時は、そういった試験対策機関は日本に無く、日本唯一で日本初の挑戦でした。

結果、一年後には、ポータルレサー試験の専門予備校を全国に四校に拡げ、ポータルレサーの八割以上を輩出する予備校となりました。（ポータルレサー試験予備校



艇学グループ <http://teigaku-kyotei.com/>

学生時代の思い出

はじめに大学生活を過ごすような生徒ではなく、ダンス部の不真面目な仲間と六畳一間に四人で住んでいて、バイトして、酒飲んで、彼女と遊んで、罰ゲームで爆笑しての毎日でした（笑）。午後に起きて、明け方までマリオカートや桃太郎電鉄やっていたのも日常でした。それが最高に幸せで楽しかった（笑）

さすがに三年生のころから遊び過ぎて焦ることに焦って、起業への夢に向かって行動しました。とにかく興味あることを片っ端からやろうと思いい、重度障害者の訪問介護や介護施設の夜勤、牛角秋津店でのアルバイトをする傍ら、東京大学の起業サークルに通って事業の経験をしたり、一人でバックパッカーとしてアメリカ横断したり、漫才のM1グランプリに出場したりしました。あと、本はたくさん読みました。三百冊以上は読んだと思います。

今後の抱負

日本は二〇二五年までに地域包括ケアシステムの実現を

掲げています。私は、地元である千葉市の自主性、主体性、特性を生かした地域モデルを創り上げることが直近ではやりたいことです。

また、その地域モデルを全国に拡げて、世界へ発信できる社会保障モデル、事業モデルの提案をしていきたいです。その準備は整ってきています。

超高齢社会の先進国の日本の社会保障制度自体は危機的な状況ではありますが、私は大きなチャンスだととらえています。なぜなら全世界で他の国が同じようなことが起こることを先に日本は体験できるからです。

社会保障分野で日本は世界の主導権を握り、「日本がもう一度世界リードする」。そのような国を創れたらと思っています。



地域の「困った」を「ありがとう」に変える®